

ROKEN いはらき

一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会

第66号

2025.2.1



笠間稲荷神社の大藤



笠間市の石切山脈の採石場跡



笠間市のつつじまつり

目次 Contents

- 会長あいさつ 2
- 茨城県福祉部 長寿福祉課 課長あいさつ 3
- 功労者表彰および永年勤続者表彰 各賞受賞者代表あいさつ 4・5
- **特集 専門家によるレポート『同職種連携のすすめ』**
常盤大学 人間科学部 健康栄養学科 教授 **鈴木 薫子氏** 6・7・8
- お知らせ 9
- 企画1 給食業務に関するアンケート結果報告
自施設調理と委託調理による各施設のレポート 10・11
- 県内他団体のご紹介 『一般社団法人 茨城県介護福祉士会』 12・13
- スタッフからの一言 [ゴーエン美浦] [ウイケア] 14
- **特別寄稿 歌手 藤田 恵美さんからのメッセージ** 15
- 企画2 各種専門委員会レポート 16・17
- 令和6年度各専門委員会主催研修会実績 18
- みんなの広場 [ノア・田尻ヶ丘ヘルシーケア・くるみ館・アリエッタ]・編集後記 19
- 会員施設一覧 20

老健いばらき 会長あいさつ

～あらためて老健の原点を考える～



一般社団法人
茨城県介護老人保健施設協会
会 長 森田 隆

昨年暮れ大場正二会長の急逝により茨老健会長を務めさせていただく事になりました。自己紹介を兼ねて会長の挨拶をいたします。

私は1974年東北大学医学部を卒業した後、秋田大学医学部の教官を務め、1984年から約3年間文部省（現在の文科省）の在外研究員としてアメリカのコネチカット州にあるイエール大学に派遣され、イエール大学病院の泌尿器科で働いていました。アメリカでは医療費（入院費）が高額のため、治療が終わると短期間で退院しますが、大学の中に、治療を終えた患者さんをできるだけスムーズに社会に復帰させるための訓練施設があり、そこでは、医師、看護師だけでなく様々なセラピストやリハビリスタッフが働いていました。イエール大学のその施設は、「プロスペクトガーデン」と呼ばれていました。日本語に直すと「将来を見通す庭」という意味です。私は、このような施設が日本にもあれば、患者さんにとっても、また、医療保険の財政面からも有益であろうと思ったものです。

3年後の1987年に帰国してからは、アメリカでの実績が評価されて東京医科歯科大学泌尿器科の助教授に招聘され、大学病院での高度先進医療に専念しました。しかし、高度医療に専念すればするほど、特に高齢の患者さんに於いては、医療を受けた後、スムーズに社会復帰出来ないだけでなく、在宅での生活も出来ず、結局、慢性期病院に転院して社会的入院になって行くのを見るにつれ、イエール大学のプロスペクトガーデンを思い出す事も屡々でした。

1998年東邦大学医学部の教授に就任したのを機に、2004年郷里の茨城県ひたちなか市に医療法人を設立し、イエール大学のプロスペクトガーデンの思いを実現すべく、老健「プロスペクトガーデンひたちなか」を開設しました。

日本における老健の基礎は1987年、高齢者の医療を重くとらえた厚生省が、「中間施設」と呼ばれる施設を全国に7か所創ったことに始まります。以来37年、この間、介護保険制度が発足し様々な高齢者施設

が開設する中で、老健施設は高齢者医療・介護の中心的道のりを歩んできたと思います。しかしながら、現在でも、老健は病院を退院しても種々の理由で在宅に帰れない高齢者の受け皿になっているのが実情です。多くの老健は、医師・看護師のいる介護福祉施設と言っても言い過ぎではありません。

私は大学を定年後、現在はプロスペクトガーデンひたちなかの施設長として、老健の現場で働いています。老健は病院からの入所者が主ですが、これまでは、病院での治療が終わり、在宅復帰を目指して入所される利用者が多かったのですが、本年、診療報酬の改定が行われた事もあり、最近では急性期医療が終わると直ぐに入所になる場合が多く、入所者の様相にも変化が見られています。一方、老健で最期を迎えるという看取り希望の利用者も増えています。

そこで、改めて老健の原点について考え、これから何をすべきか考えてみたいと思います。

老健は医療と介護を同時に行っています。医療については介護保険のため、矛盾しているようであるが、診療報酬が無い中での利用者に適した医療が求められます。医師も看護師も介護士までも全科的な医療の対応を求められます。昨今のように、急性期の医療が終わってすぐに入所してくる場合には、尚更、職員の医療対応レベルを上げないといけません。一方、介護は元々家庭において家族によって行われていたものです。従って、利用者を介護する事は、利用者に家族の愛情を伝える事でもあります。求められる良い介護は利用者それぞれで異なるのが常であり、その為には、老健の職員はコミュニケーション能力を磨き自身の心を豊かにしなければいけません。

老健協会は老健の職員の皆様の医療介護のスキルアップをお手伝いすると同時に、職員の皆様が楽しく生きがいをもって仕事ができるよう心のケアにも配慮した研修会などを企画していきます。

これから茨老健会長として精一杯努力しますので宜しくお願い致します。

茨城県福祉部長寿福祉課

茨城県福祉部 長寿福祉課

課 長 大嶋 弘章

～とんかつ屋でサービスについて考える～

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

茨城県介護老人保健施設協会会員の皆様方には、日頃から高齢者保健福祉の向上並びに介護保険制度の円滑な運営に多大なご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

空気が乾燥し、気温が低くなる冬は、様々な感染症が流行しやすい時期です。重症化リスクの高い高齢者の方が多く生活している介護老人保健施設におかれましては、感染症対策を徹底されますようお願いいたします。

さて、我が国は、少子高齢化が急激に進展しており、「団塊の世代」の全てが75歳以上となる2025年を迎え、高齢者人口が全体の3割を占める超高齢社会にあります。

本県におきましても、高齢者率が昨年10月時点で31%であり、2040年には37.2%と約4割に達すると予測されていることから、医療や介護のニーズは今後さらに増加することが見込まれております。

こうした中、昨年4月の介護報酬改定におきまし

ては、人口構造や社会経済状況の変化を踏まえ、「地域包括ケアシステムの進化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた対応」「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」などを基本的な視点として1.59%の増額改定が実施されたところです。

その中で、介護老人保健施設につきましては、在宅復帰・在宅療養支援機能の促進、協力医療機関との連携体制の構築、感染症対応力の向上などに関し、基本報酬の増額や新たな加算の創設が行われております。

このように、介護老人保健施設は、医療機関と在宅をつなぐ重要な施設として、さらなる機能充実が求められておりますため、各施設の皆様におかれましては、より一層のご尽力を賜りますようお願いいたします。

結びに、今後とも本県の高齢者保健福祉行政の推進にご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展をご祈念いたしまして、挨拶といたします。



茨城県介護老人保健施設協会の運営目的

当法人は、茨城県内の介護老人保健施設並びに関係者相互の連携協力により、高齢者ケアに関する研究・普及・啓発の各種事業を行い、高齢者の尊厳の保持のもとに、住み慣れた地域で安心できる高齢者社会の実現に向け、施設のさらなる発展と使命遂行により、県民の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。

功労者表彰および永年勤続者表彰

※受賞のみなさま、誠におめでとうございます。

茨城県介護老人保健施設事業功労者 1施設 1名

施設名	職名	氏名	勤続年数
ルーエしもつま	介護看護師長	国府田美代子	22年

功労者表彰受賞者一覧票 10名

施設名	職名	氏名	勤続年数	施設名	職名	氏名	勤続年数
いちご苑	看護師	寺門登美恵	20年	サンライズ湊	支援相談員	二川 洋子	20年
おおあらい	介護福祉士	藤咲 洋子	14年	すばる	理学療法士	石川 寿史	12年
大宮フロイデハイム	准看護師	篠田 浩子	21年	田尻ヶ丘ヘルシーケア	支援相談員	大津 陽平	19年
ごぎょうの里	介護	鶴見 和也	22年	マカベシルバートピア	リハビリ職	渡邊三枝子	14年
さざんか荘	栄養士	栗山 朱美	18年	レイクヒルひぬま	看護師	川崎 栄子	25年

永年勤続者表彰受賞者一覧票 37施設 102名

◆ 35年勤続 1名◆

施設名	職名	氏名	勤続年数
田尻ヶ丘ヘルシーケア	介護支援専門員	黒沢 典子	35年

◆ 25年勤続 15名◆

施設名	職名	氏名	勤続年数	施設名	職名	氏名	勤続年数
ごぎょうの里	介護	岡本 裕美	25年	リヒトハウス北浦	看護師	矢尾 明子	25年
サンライズ湊	介護福祉士	三富 規生	33年	涼風苑	介護支援専門員	荒井 綾子	25年
シルバービレッジ	准看護師	大貫 晃	26年	涼風苑	介護職員	田村 崇	25年
シルバービレッジ	栄養士	遠藤由里子	25年	ルーエしもつま	管理栄養士	塚田 洋子	26年
つくばリハビリテーションセンター	介護士	石川 智子	25年	ルーエしもつま	介護福祉士	生井 直	25年
マカベシルバートピア	事務職	成田 茂美	25年	レイクヒルひぬま	看護師	川崎 栄子	25年
マカベシルバートピア	介護職	小島 茂美	25年	レイクヒルひぬま	介護福祉士	落合 淑子	25年
マカベシルバートピア	介護職	鴻田かおり	25年				

◆ 10年勤続 86名◆

施設名	職名	氏名	勤続年数	施設名	職名	氏名	勤続年数
いちご苑	看護師	斎藤久仁子	11年	さざんか荘	介護職員	永堀美恵子	13年
おおあらい	介護福祉士	藤咲 洋子	14年	春秋園	介護福祉士	磯崎 典子	10年
おおあらい	介護福祉士	関根 裕子	19年	シルバービレッジ	介護職員	阿部万紀子	11年
大宮フロイデハイム	介護職	飯田 静香	10年	シルバービレッジ	介護職員	小林 信子	10年
かすみがうら	支援相談員	下河邊敦子	11年	シルバービレッジ	介護職員	磯 麻子	10年
かすみがうら	介護支援専門員	添泉 広子	12年	しろかね	准看護師	久保 洋美	10年
かすみがうら	介護士	坂本菜々美	10年	しろかね	看護師	佐達 順子	12年
くるみ館	看護職員	菅庭 知子	10年	しろかね	准看護師	吉種 美紀	12年
くるみ館	看護師	鈴木 純栄	10年	しろかね	介護福祉士	猪瀬 友美	10年
くるみ館	介護職	佐藤奈央子	10年	しろかね	介護福祉士	大林由美子	10年
くるみ館	介護職	古市 拓矢	10年	しろかね	理学療法士	土田 知生	11年
くるみ館	調理員	佐藤 有美	10年	しろかね	理学療法士	桑原 英知	10年
くるみ館	理学療法士	米川 珠萌	10年	しろかね	事務	田口 良樹	14年
ごぎょうの里	介護	鈴木 希望	16年	スーペリア360	介護福祉士	石川 哲也	10年
ごぎょうの里	介護	谷中 恵美	16年	すばる	看護師	新井 知佳	10年
桜の郷敬愛の杜	介護職員	田中 裕美	11年	すばる	介護員	久保野谷将	10年
さざんか荘	理学療法士	益子 智宏	14年	田尻ヶ丘ヘルシーケア	管理栄養士	根本由香里	12年

施設名	職名	氏名	勤続年数	施設名	職名	氏名	勤続年数
田尻ヶ丘ヘルシーケア	介護員	四家 克己	12年	平成園	介護	小林比呂美	10年
田尻ヶ丘ヘルシーケア	介護員	椎名 亮太	12年	まくらがの郷	介護福祉士	船山 拓也	10年
つくばリハビリテーションセンター	介護士	張替千恵美	23年	まくらがの郷	理学療法士	板橋 裕美	10年
つくばリハビリテーションセンター	介護士	長峯 聡子	23年	まくらがの郷	介護福祉士	田口絵里香	10年
つくばリハビリテーションセンター	介護士	甲斐 和代	18年	もえぎ野	作業療法士	渡辺 絢子	10年
ノア	介護福祉士	武内 裕	21年	もえぎ野	介護福祉士	宮本 栄子	10年
日立南ヘルシーセンター	介護職	酒井 里依	23年	もえぎ野	介護福祉士	宮嶋 里美	10年
日立南ヘルシーセンター	准看護師	関 弘子	21年	もえぎ野	介護福祉士	鈴木 幸子	10年
日立南ヘルシーセンター	介護職	佐藤 晴美	21年	八郷プロバンス	介護福祉士	増尾 郁志	10年
ひだまり倶楽部	理学療法士	村上 弘樹	23年	八郷プロバンス	介護福祉士	岩田 みち	10年
ひだまり倶楽部	介護福祉士	遠藤 朝子	23年	八郷プロバンス	介護員	郡司 文子	10年
ひだまり倶楽部	事務員	三浦ひろみ	23年	八郷プロバンス	介護福祉士	鈴木 幸子	10年
ひだまり倶楽部	介護福祉士	大熊 悦子	22年	八郷プロバンス	介護福祉士	藤枝 裕昭	10年
ひだまり倶楽部	准看護師	児玉 義雄	20年	八郷プロバンス	介護福祉士	小松崎睦朗	10年
ひだまり倶楽部	介護福祉士	阿部 幸次	19年	八郷プロバンス	介護福祉士	志岐 弘子	10年
ひだまり倶楽部	介護福祉士	腰山 太門	19年	八郷プロバンス	看護師	高野さつき	10年
ひだまり倶楽部	管理栄養士	矢花 路子	18年	八郷プロバンス	介護福祉士	本多 康裕	10年
ひだまり倶楽部	准看護師	川久保 博	18年	八郷プロバンス	准看護師	羽賀 弓子	10年
ひだまり倶楽部	看護師	福田 光代	17年	リヒトハウス北浦	調理師	菅澤 孝枝	10年
ひだまり倶楽部	介護福祉士	堀江久美子	16年	リヒトハウス北浦	調理師	小阪絵理香	10年
ひだまり倶楽部	介護福祉士	腰山 総子	16年	リヒトハウス北浦	介護福祉士	鎌形 大輔	10年
プラタナスの丘	事務職	鈴木 恵子	10年	リヒトハウス北浦	薬剤師	林原 好美	10年
プロスペクトガーデンひたちなか	介護福祉士	石井 純子	10年	涼風苑	支援相談員	竹澤 千鶴	10年
プロスペクトガーデンひたちなか	介護福祉士	川崎 啓二	10年	レイクヒルひぬま	介護福祉士	吉田 武史	11年
プロスペクトガーデンひたちなか	支援相談員	岡部 雅弘	10年				

永年勤続表彰受賞にあたり

介護老人保健施設
マカベシルバートピア
介護職 小島 茂美



この度は、永年勤続者として表彰して頂き誠にありがとうございます。

介護老人保健施設マカベシルバートピアは平成10年に開設、それに伴って、介護職として入職し、立ち上げからスタートしました。老人保健施設として働くことは初めてでした。戸惑いもあり、あっという間に26年が経ち、こま

で続けて来られたのも、理事長をはじめ、周りのスタッフのおかげでもあります。

私が介護士への道を選んだ理由は、従妹が聾啞者でした。何かの役に立てればと福祉の専門学校に進み、又、その頃には、父親が地元の民生委員を務めており、お年寄りの世話やオムツ配布を行っていたので時々お手伝いをしてきました。その父親の背中を見てこの道を選んだのかと思います。

ここまで来るまでには、何度も挫折しそうになる事もありましたが入所者様の笑顔を見るたびに、この道に進んで良かったと思うようになりました。

今後も利用者様、入所者様一人一人に寄り添い、笑顔と感謝を忘れずに支援をしていきたいと思っています。

介護老人保健施設
さざんか荘

栄養士 栗山 朱美



この度は、功労者として表彰して頂き誠にありがとうございます。

介護老人保健施設さざんか荘は平成2年に開設されました。私は平成17年に入職し、あっという間に19年という歳月が経ちました。これまで仕事を続けてこられたのも、施設長始め諸先輩方のご指導や、良き同僚に恵まれて支えていただいたお陰と感謝しております。

東日本大震災の際には、ご利用者様には少しでも安心と元気を届けたいと、厨房職員一丸となり温かいご飯の提供

に努め、改めて食事の大切さを実感いたしました。

コロナ禍では感染拡大予防の為に、面会や施設内行事などが自粛され、ご利用者様も普通の生活がままならない時期もありました。今はかつての日常生活が戻り、多職種が関わり、自宅復帰されるご利用者様が増えてきました。ご家族様のお迎えで帰られるご利用者様の笑顔は何ものにも代えがたく、この仕事に携われることを嬉しく思います。

私は常々献立を考える際に、ご利用者様の健康維持の為に栄養バランスだけでなく、食べる事の楽しみや喜び、そして満足感や癒しといった「心の栄養」に繋がる食事の提供に心掛けております。

今後もご利用者様が心穏やかに過ごしていただけるよう努力してまいります。

特集

専門家によるレポート『同職種連携のすすめ』

常磐大学 人間科学部
健康栄養学科 教授

鈴木 薫子 氏

はじめに

わが国は世界的にも例をみないスピードで少子高齢化が進行し、超高齢化社会を迎えています。茨城県の高齢化率は30%を超え、全国平均よりも早いペースで高齢化が進んでいます。在宅療養患者のうち、低栄養もしくは低栄養のリスクを有する割合は70%を超えるとの報告もあり¹⁾、健康寿命の延伸を目指して高齢者に対する栄養管理の重要性がますます高まっています。私は長く医療機関で栄養管理に携わってきましたが、入院する患者さんも年々高齢化し、食が進まない、うまく噛めない、飲み込みにくいなど低下した嚥下機能に応じた食事の提供などに対応してきました。ところで、入院した患者さんは治療後、自宅に退院するばかりではなく、後方支援の医療機関や、介護福祉施設へと転院される方も多くなりました。栄養管理を一つの施設内で完結させることは難しく、患者さんの移動にあわせて情報をつなぎ、地域でシームレスな栄養管理を行うことが求められています。

鈴木 薫子 (すすきかおるこ)

【学歴】

1987年3月 常磐短期大学家政科食物栄養専攻卒業
2022年3月 茨城キリスト教大学大学院生活科学研究科食物健康科学専攻修士課程修了

【職歴】

1987年3月 株式会社日立製作所多賀総合病院栄養管理室 入職。
2010年4月 株式会社日立製作所日立総合病院栄養科
2023年4月 常磐大学人間科学部健康栄養学科 教授
2023年4月 公益社団法人 茨城県栄養士会医療専門研究会会長



栄養ケア・マネジメントの導入と診療報酬

栄養ケア・マネジメントとは「対象者の栄養状態を判定し、個人に最適な栄養ケアを行う、一連の流れ(システム)のこと」で、対象者の栄養状態・健康状態を改善して、ADL (activities of daily living: 日常生活動作) QOL (quality of life: 生活の質) を向上させることが目的です。栄養ケア・マネジメントの過程は、基本構造として①栄養スクリーニング、②栄養アセスメント、③栄養ケア計画、④栄養ケア計画の実施、⑤モニタリング、⑥最終評価 から成り立っています。

平成17年(2005年)10月、介護保険下での介護保険制度改正に伴い「栄養ケア・マネジメント(nutrition care management: NCM)」実施が加算対象となりました。医療ではその半年後、平成18年(2006年)4月の診療報酬改定において、医療保険における「栄養管理実施加算」が新設され、入院基本料として1日につき12点の加算が認められました。

病院に勤務する管理栄養士・栄養士は、入院する患者さん一人ひとりに「栄養管理計画書」を作成し、栄養管理上の問題の有無を判断し、目標栄養量の算出、栄養補給経路の検討、食種、食事形態、栄養補助食品の提案、摂取栄養量、栄養管理を行うようになり、それまで対象者の疾患にあわせた献立作成や食事提供、外来での栄養指導が主体だった業務からの大きな変換点になりました。当時、厨房にも入って、病棟にも出て、マンパワーが足りない! と多くの声が挙がりましたが、日本栄養士会の中村丁次会長が「大変さをアピールする前に、栄養士の皆さんは倒れるくらい働いてみてください」と激励のメッセージ(激励だったのか、叱咤だったのか、...)を送っていたことが記憶に残っています。

その後も診療報酬改定で栄養関連項目は新たな評価や見直しが行われ、令和2年度の診療報酬改定においては、管理栄養士が行っている業務やスキルが多方面で評価されました。栄養管理の重要性の高まりとともに、管理栄養士の日々の業務が、患者支援に貢献していることの現れであり、評価につながったものと考えられます。その中で、地域包括ケアシステムの推進のための取組の評価として、入院医療機関と在宅担当医療機関等との切れ目ない栄養連携を図る観点から「栄養情報提供加算(50点)」が新設され、R6年度(2024年)の改定では、医療と介護における栄養情報連携を推進する観点から、入院栄養食事指導料の栄養情報提供加算について、名称、要件及び評価が見直され「栄養情報連携料(70点)」が新設されました。この算定では、介護保険施設等に退院する患者の栄養管理の内容について、管理栄養士同士が事前に連携を図ったうえで情報共有を行った場合に算定することができます(図1)。

県北地域での栄養情報共有のとりくみ

日立市には、昭和 52 年に発足した「日立市臨床栄養研究会（以下、研究会）」があります。「栄養管理、栄養指導、給食管理等について研修し、医療機関内の臨床栄養の向上に寄与すること」を目的に活動を行っています。市内だけでなく近隣市町村の病院栄養士らにも声掛けをし、定例で勉強会を開催してきました。

研究会では以前からシームレスな栄養管理を実践するために、食事の種類、食形態、栄養補助食品に関する情報共有や、栄養に関する情報連携の必要性について考えてきました。今回はその取り組み紹介したいと思います。

平成 21 年（2009 年）ごろ、栄養管理実施加算や NST 活動の普及により、多くの医療機関で多職種による栄養管理が行われていました。私が以前勤務していた病院では、在院日数は約 10 日、急性期の治療が終わると患者は退院（転院）していきいます。系列病院間では共通の嚥下調整食基準を作成し、転院時のスムーズな栄養管理を推進してきましたが、嚥下食に限らず食事基準や食種名称、副食形態、使用する栄養剤などは施設ごとに異なり、転院時の栄養管理に支障をきたすケースもありました。

当時勤務していた病院で、嚥下調整食を食べていた患者が退院間際に常食となり、私はてっきり「状態が良くなって常食に変わったのだろう」と思っていました。ところが、病棟で確認すると、「転院先に嚥下食がないので、退院前に常食が食べられるように訓練している」とのことでした。食種の名称は違っても食事の量や形態を申し送れば、同じような食事は提供されるはず。このことがきっかけとなり、情報提供書の運用について検討を始めました。

研究会でまず始めに行ったのはアンケート調査です。栄養管理の連携は必要だと思うか、共有したい情報は何か、施設内の食事の呼称・副食形態はどのようなものがあるか。48 施設に送付し、31 施設から回答を得ることができました。栄養管理の連携が必要との回答は 81%、共有したい項目は身体計測値、生化学検査結果、栄養補給法、食事内容、食事・水分の摂取状況、食事に関する問題点、介助の必要性、食事に関する本人・家族の要望など多岐にわたり、食事名称や副食形態の種類や呼称は施設によって様々であることも確認できました。そこから 1 年半をかけて勉強会を重ね、提供書の様式や送付方法を検討し、平成 23 年（2011 年）2 月、勤務先からの栄養情報提供を開始しました。当初は転院先を限定して開始しましたが、選定する作業に手間がかかるため、転院先や栄養補給ルートにかかわらず、転院するすべての患者に作成することになりました。当時はもちろん情報提供に点数はついていませんし、栄養科のスタッフにとっては大変な業務負担だったと思いますが、皆情報提供の必要性を重視して取り組んでくれました。

令和 6 年度診療報酬改定 II-3 リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進-⑦

医療と介護における栄養情報連携の推進（再掲）

栄養情報連携料の新設

- 医療と介護における栄養情報連携を推進する観点から、入院栄養食事指導料の栄養情報提供加算について、名称、要件及び評価を見直す。

（新）栄養情報連携料

70点

【対象患者】

- ア 入院栄養食事指導料を算定した患者
- イ 退院先が他の保険医療機関、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム又は障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律第34条第1項規定する指定障害者支援施設等若しくは児童福祉法第42条第1号に規定する福祉型障害児入所施設（以下この区分番号において「保険医療機関等」という。）であり、栄養管理計画が策定されている患者

【算定要件】

- (1) 区分番号B001の10に掲げる入院栄養食事指導料を算定した患者に対して、退院後の栄養食事管理について指導を行った内容及び入院中の栄養管理に関する情報を示す文書を用いて説明し、これを他の保険医療機関等の医師又は管理栄養士に情報提供し、共有した場合に、入院中1回に限り算定する。
- (2) (1)に該当しない場合であって、当該保険医療機関を退院後に他の保険医療機関等に転院又は入所する患者であって栄養管理計画が策定されているものについて、入院中の栄養管理に関する情報を示す文書を用いて当該他の保険医療機関等の管理栄養士に情報提供し、共有した場合に、入院中に1回に限り算定する。
- (3) 区分番号B015に掲げる退院時共同指導料2は別に算定できない。
- (4) 区分番号A308に掲げる回復期リハビリテーション病棟入院料（回復期リハビリテーション入院料1に限る。）においては、区分番号B001の10に掲げる入院栄養食事指導料と同様に、包括範囲外とする。

＜入院中に栄養食事指導を行った患者＞



＜介護保険施設等に退院する患者＞



316

（図 1）

情報提供の効果を確認する目的で、送付開始から3か月後、10年経過した2021年にもアンケート調査による評価を実施しています。

管理栄養士 同職種連携の推進にむけて

はじめに記載したように、在宅療養者の低栄養・低栄養リスクを有する割合は70%を超えています。高齢者が低栄養に陥る要因は様々あり、独居や孤独感などの社会的要因、認知機能障害などの精神的心理的要因、味覚障害や食欲低下をもたらす加齢の関与、疾病に関連して嚥下機能障害や口腔内の問題、日常生活動作障害が影響することもあります。

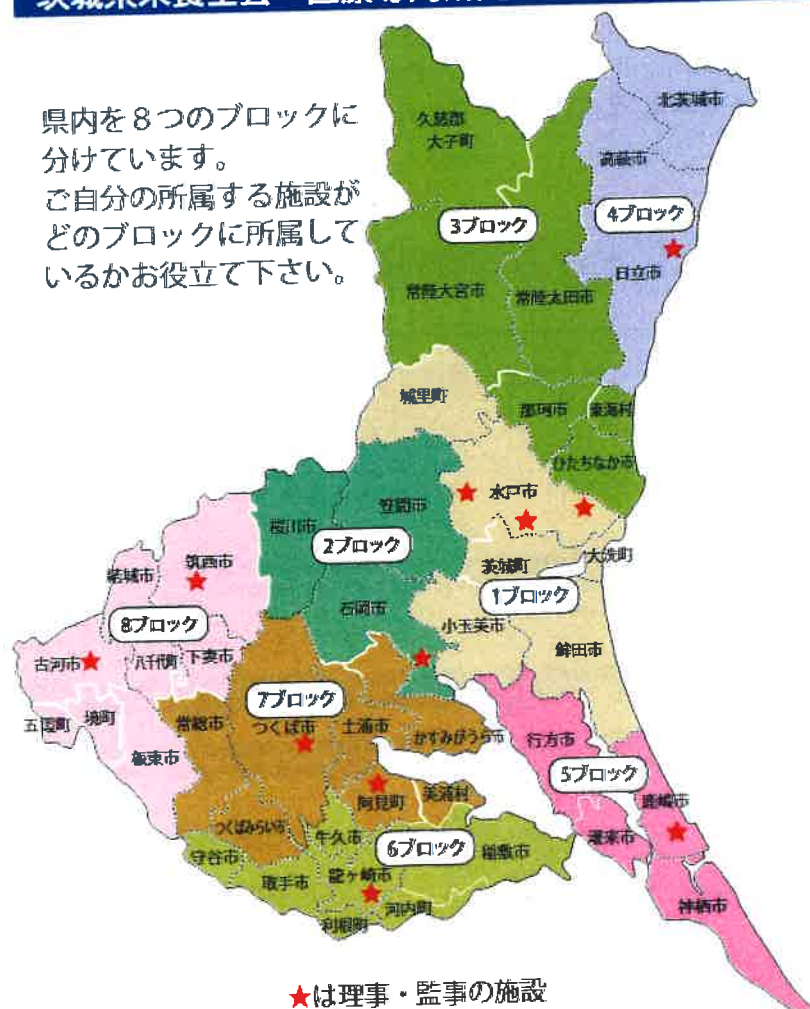
管理栄養士にできることは何でしょうか。対象者の栄養ケア・マネジメントを実施する際、MUST、NRS-2002、MNA-SFなどのツールを用いて栄養スクリーニングを実施し、「栄養リスクあり」と判定された場合は、GLIM基準を用いて低栄養診断を行います。指標としては、表現型基準3項目（意図しない体重減少、低BMI、筋肉量減少）と病因基準2項目（食事摂取量減少／消化吸収能低下、疾患負荷／炎症）があり、それぞれ1つ以上の項目が該当する場合は低栄養と判定されます。低栄養診断指標に筋肉量減少が含まれていることから、GLIM基準はフレイルやサルコペニアの早期発見、早期介入の可能性にもつながります。

さらに不適切な食形態になっていないか、栄養に関する誤認識はないか、栄養に関する情報を職域の垣根を越えて共有していきましょう。

現在、茨城県栄養士会医療専門研究会では、県内を8つのブロックに分け、地域での顔の見える関係を築くことを目的に、ブロックごとに研修会を開催しています（図2）。お近くの地域で開催される勉強会に、是非足を運んでみてください。

茨城県栄養士会 医療専門研究会ブロック分布図

（図2）



参考文献

- 1) 国立長寿医療研究センター．平成24年度老人保健健康増進等事業 在宅療養患者の摂食状況・栄養状態の把握に関する調査研究報告書．平成25年3月

お知らせ



『わたし ^{きずき}城 ^{みなみ}南海は
茨城県老健協会のみなさんを
応援しています！』

～プロフィール～ アルバム／ツアー情報

1989年 鹿児島県奄美大島生まれ。奄美民謡「シマ唄」をルーツ
に持つシンガーソングライター。

2009年1月「アイツムギ」でメジャーデビュー。

代表曲は、NHKみんなのうた「あさなゆうな」「夢町列車」、NHK
ドラマ八日目の蟬の主題歌「童神～私の宝物～」、「兆し」ほか。

♡【アルバム】デビュー15周年記念アルバム『爛漫』絶賛発売中

♡【ツアー情報】城南海ウタアシビ2025 春

5/10(土) 大阪公演 大阪市・大阪俱樂部4階ホール

5/11(日) 名古屋公演 名古屋市・秀葉院大ホール

6/ 1(日) 東京公演 東京都中野区・梅若能楽学院会館

♡【ファンクラブ】オフィシャルファンクラブ「南海人“みなみんちゅ”」の
新規入会は「城南海 オフィシャル ウェブサイト」から
お願いいたします。充実の内容をお楽しみいただけます。



お知らせ

1

★令和6年度 各種専門委員会合同会議 開催について★

令和7年3月21日（金）14時からザ・ヒロサワ・シティ会館にて、令和
6年度各種専門委員会合同会議を開催いたします。今回も昨年と同じく現地開催
となります。（議題は令和7年度事業計画等についてになります。）

お知らせ

2

★顧問弁護士による『無料』電話相談窓口のご登録について★

再連絡になります。まだ、電話相談窓口のご登録がお済みでない会員施設は事
務局まで申し付け下さい。

なお、登録にかかる費用ならびに登録後の相談料は無料です。

企画 1

「給食業務に関するアンケート」結果報告

介護老人保健施設の給食業務についての実態と各施設の課題や工夫している点について、会員施設を対象にアンケートを実施しました。紙面の都合上掲載とならなかった内容もございますがご了承下さい。

アンケート回収数 57 施設

Q1 貴施設での給食方法をお聞かせ下さい。

自施設調理 19 施設

委託調理 38 施設

Q2 給食業務を行うにあたり、工夫している点や課題等をお聞かせ下さい。

自施設調理

【工夫している点】嚥下調整食学会分類のコード2-1.3.4に相当するソフト食を①～④の4段階で準備している。お楽しみ献立の実施（月1回、毎月異なるテーマで提供）。おやつ作りの実施（年5回）。毎月1～2回、世界の料理と題して変わったメニューを提供。季節、行事物の食材・料理の提供をしている。サンマやアユは冷凍ではなく生魚を焼いて提供しています。フロアの状況（感染症対応中や人数不足でなければ）によっては、フロアで焼いてその場で利用者様にすぐ提供できた時もあります。鍋物は一人ずつ土鍋を使って、配膳直前にコンロで加熱し提供しています。（温冷配膳車ではないので）。手作りのおやつの頻度を増やして、コスト削減を図っています。直営なので材料コストには注意を払いながらも生鮮や季節の物を取り入れている。いつもと違う食器（お弁当箱等）で提供すると利用者が喜んでくださるので、行事委員会と連携して行事ごとに提供している。蒸しパンや焼き芋、饅頭といった手作りのおやつは好評なので定期的に実施している。ハンバーグやシュウマイやお好み焼きなど手間がかかっても出来るだけ手作りのものを提供している。円滑な業務を行うために定期的なミーティングを実施。連絡ノート（食事やその他変更点等何でも記入）を作り、出勤時に全員確認しサインをしている。調理済みの食材も使用していますが、野菜は冷凍に頼らず80～85%は生野菜を使用しています。従業員の高齢化により、食札を色分けしたり色付きのシールでわかりやすくしている。時短勤務者を組み合わせて、必要人数をまかなっている。野菜の価格が高いとき、カット野菜の価格の方が低いときにはカット野菜を使うようにしている。食材を無駄なく使用する為、味を変えて提供している（同じ食材の味を変える）。本人の目の前でご飯と味噌汁をよそることを実施している。お米等の食材費がものすごく上がっていて色々見積もりをもらいながら安い物を仕入れている。10月から米を生産者から直接購入。利用者負担額の検討中。まずは美味しい物、嗜好を反映。仕入れ状況の確認（仕入れ額の見直し）を随時行っている。情報を取り入れ、利用者が喜ぶ献立を提案・実施している。厨房内作業の負担を減らすよう時々調理済み食品を利用している。年に1度嗜好調査を行い、献立に反映するようにしている。通所リハビリの利用者様は利用する曜日が決まっているので献立がなるべく重ならないようにしている。献立がマンネリ化してしまうので、他施設の行事食やおすすめレシピなどを検索して新しいメニューを取り入れていきたい。

【課題】食材費が高騰しているなか限られた費用の範囲でやり繰りすること。利用者の禁止食が多彩になってきて対応が大変。個人個人のレベルアップ。人員不足が続いています（プラス、調理スタッフの高齢化）。募集しても入職される方がいない。作業工程を変更して調理スタッフの負担軽減を考慮しシフト作成、メニュー調整をしている。一般食から展開する食種が多く、それぞれの食種にあった展開を行う事、禁食対応を利用者に満足して頂けるよう考えることが課題。献立のリクエストを出来る限り迅速に対応できるよう工夫しています。従業員の高齢化により、今後の人員確保が課題。厨房が古く冷凍庫が1台しかなく、冷凍野菜や冷凍の品が入るだけしか注文できず、生の野菜を多く使用したり、納品日の調整をしたり苦労している。直営なので人が足りない時は厨房業務を優先し、事務業務が滞ってしまう。献立作成、発注等も含め全てやらなければいけないので忙しい。各委員会やカンファレンスに参加もしている。職員の確保が大変です。栄養士、調理員を募集しているが応募が全くない。今居る職員の残業が増えてしまっている。仕入れ先の見直しが必要。調理員の応募が少なく採用するも長期の継続勤務が困難。

委託調理

【工夫している点】法人グループ内で一括調理できるセントラルキッチンに施工。ビタミン類、カルシウム、鉄が不足気味だが、給食委員会から毎月フルーツの日としてフルーツ提供をしている。嗜好調査や日々の食事の聞き取り、フロアスタッフからの意見を取り入れ献立内容の修正・改善を行っている。また、毎月ご当地メニューや世界の料理・季節の料理を組み込み、長く入所されている方々にも飽きのこないよう変化をつけている。検査をフロア職員にもお願いすることで利用者の意見（朝食や夕食時の栄養士の介入が難しい時間帯の意見）も取り入れることができる。ニュークックチル方式を採用している。全粥・ペースト食はカロリー・たんぱくが不足しがちなのでメイプロテインパウダー、MCTオイルを加え常食に近いエネルギー量を確保している。褥瘡改善・予防のため、対象者をピックアップしてCP10（コラーゲンペプチド飲料）を提供している。毎月行事食や郷土料理、銘菓、駅弁を提供している。人手不足解消のためにも委託会社では、外国人技能実習生を積極的に採用し、活躍してくれています。個人対応の多い職場なので、間違いをなくするため、表記等に工夫（色分け・字体など見やすく分かりやすいものとする）をしている。味噌を専門の業者から購入しており、味噌汁は利用者の好評を得ている。肉は生を専門業者から前日納品してもらい大根おろしの汁でもんで漬け込み柔らかくして提供している。当施設は病院併設の老健であるため、2施設同一厨房で調理をしており病院とほぼ同一献立で展開して設定し、調理現場の負担を減らしている。月1回の行事食と十五夜（けんちゃん汁）、冬至（かぼちゃ煮）等、暦にあったメニューの提供をしています。施設からの連絡、トラブル等は委託会社の朝礼時に報告し情報を共有するようにしている。物価高騰のなか満足度を落とさずに給食運営を行うため、委託の献立担当の方と話し合いながら献立作成を行っている。イベント食の日を事前にポスターで周知し、会話のきっかけ作りをしている。出来るだけ温かい食事を提供できるよう、配膳時間を逆算しご飯と味噌汁を温かい状態で提供している。また、カレーや麻婆豆腐など刻み食まで対応できるメニューの際にはそれぞれのフロアで配膳して温かい状態で召し上がっていただいている。冷凍の魚は固くパサついてしまうので、調理方法を工夫してもらっている（照り焼きの時は醤油のあんをかけてもらう等）。月に1度給食会議を開催し、食事の内容献立のチェックを委託業者に参加してもらい検討している。主食の米などは地元の仲介業者をお願いしなるべく低価格で地産地消を考え提供していただいている。

【課題】厨房の職員を募集しても集まらず委託での給食運営が厳しく将来を見込んでのセントラルキッチン導入ですが、食事の締め切りが3回前とクックサーブの時と比べてロス食が出ているのが悩みです。委託業者に対し、食事のエラーを減らす努力や取り組み、従業員への指導を徹底して行ってほしいという思いがあるが、会社が違うため介入しにくい部分がある。従業員が高齢化しており新しい事を覚えたり、変更になった業務に対応しきれないと感じる。利用者様に関してアレルギー対応の増加が見られている。委託側に伝達すべきことの判断が課題（コミュニケーションの取り方）。どこまで伝えるべきか（利用者や職員の生の声を）、負担のない伝達方法。今後は加水ゼロ調理法の導入を検討しているが、委託側の人員に欠員があり保留中。委託調理業者より物価高騰による値上げ相談があり、令和6年4月より調理委託費を食費1,445円まで引き上げましたが令和6年9月に米仕入れ資金が前年より大幅値上がりをしているため再度の引き上げ要望もあるも、現在食費1,445円が利用者様よりいただける最大金額であり、当施設としても今後更なる物価高騰が見込まれるため、食費金額引き上げ検討を図るべきと考慮しております。食事形態、嗜好に対し入所者（又は職員）の要望に添えるようにしているが厨房内の作業が煩雑となってしまう。例として魚料理は煮魚で提供（焼き魚禁止）、焼き鮭はあんかけで提供、朝は全粥、昼・夕は米飯で提供、麦とろご飯の時のみ朝は米飯で提供など。委託業者から食材費、人件費の上昇に伴う委託費の値上げの要請が来ている（今年2回目）。人件費や物価高騰（米の価格上昇）により、委託費が増し、経営に影響が出ている。減塩食は混ぜご飯が提供されず白米になるため利用者からは不満がきかれています。施設としては皆同じものを提供したいと考えているが、委託先からは難しいと言われた。外個人技能実習生に厨房内に調理業務に従事してもらっていますが、言語の壁や文化の違いがあり、コミュニケーションに苦労することもあります。アレルギーは別として、個人の嗜好をどこまで受け入れたらいいのか線引きする際の断り方、対応方法などいい方法があれば教えてほしいです。

自施設調理と委託調理の各1施設からレポートを頂きました。

自施設調理

常陸大宮市にあります、介護老人保健施設大宮フロイデハイムです。併設する志村大宮病院、配食サービスセンターと厨房を兼ねており、1日約1000食を提供しています。

当施設では2010年よりソフト食（嚥下調整食）の改善活動に取り組んでおり、主食は嚥下調整食学会分類2013コード1jに相当するミキサー粥、副食はコード2-1、3、4に相当する4種類、濃厚流動食をゼリーにした手作りの補助食を提供しています。始めた当初は、食材の切り方や調理法の研修会を行い、言語聴覚士の協力を得て形態の評価を行いながら試行錯誤をして参りました。現在ではソフト食の作り方も定着していますが、開始当時から在籍するスタッフに聞くと慣れるまではとても大変だったとのことでした。しかしその大変さを乗り越えたことでご利用者様の口から食べる楽しみを継続できているのではないかと思います。

毎月実施しているお楽しみ献立は若手栄養士がテーマを決め、献立作成を行っています。テーマは様々で季節の行事や郷土料理など多彩なメニューが登場します。普段とは違った料理や特別なデザートは毎回好評をいただいています。以前は生活リハビリを兼ねバイキングスタイルでの提供を行っていましたが、コロナ禍をきっかけに通常配膳となってしまいました。提供方法は変わりましたが今後も続けていきたい取り組みです。

ご利用者様と一緒に作るおやつ作りも年に5回実施し、食材を切る作業やトッピングに参加していただいています。どら焼きを作った際は待ちきれずにつまみ食いをしてしまう方も。皆さんで楽しみながらたくさん食べてください。このような参加型の行事もフロアスタッフと協力し、継続していけたらと思います。

食材費の高騰により遣り繰りは大変ですが、「わたくしたちの真心をのせて温かく、楽しく、心やすらぐひとときをご利用者様にお届けします」という栄養科の理念のもと食事の提供を行っていきたいと思います。



介護老人保健施設 大宮フロイデハイム
管理栄養士 木村美咲

委託調理

介護老人保健施設 鹿野苑は平成2年に開設され、雄大な太平洋を眼下に望む四季折々の自然豊かな開放感にあふれ、充実したリハビリ生活を送っていただける施設です。

鹿野苑では、毎月1回季節の行事に合わせたイベントメニューの提供を行っており、行事に因んだ献立や旬の食材を使用し、季節の変化を感じるイベントメニューは、入所・通所ともに利用者様には大変楽しみにして頂いています。普段はあまり食欲がない方も、イベントメニューの提供日は完食していたり、「今日はおいしい」「豪華ね」といった喜びの声も多く聞かれ、スタッフの励みにもなっています。その他、入所では毎年、夏まつり、運動会、餅つき・鏡開きなどの大きな行事を行い、それぞれの催し物に合わせた食事の提供をしています。どの行事も利用者様に楽しんで頂けるよう職員一同趣向を凝らして盛大に行っています。また、毎月2回の入所喫茶では利用者様一人一人に聞き取りを行い、夏は炭酸飲料、冬は甘酒のほかコーヒー・ジュース類から好きな飲み物を提供しており、当施設での生活の楽しみにしていただけるような取り組みをしています。

通所リハビリテーションでは、レクリエーションの一環として毎月2回、料理部の活動として30分程度で作れる簡単なお菓子作りを体験して頂いています。こちらも季節に合わせたお菓子作りが利用者様には大変好評で、「家でも作れそう」「孫に食べさせて上げたい」等の前向きな発言の他に、ご自宅のお話を聞かせて頂けることも多いです。また、毎年7月から9月まで、毎週2回かき氷の提供を行っています。フロアへかき氷機を運び、利用者様の目の前で氷を削り、夏の風情を楽しんで頂いています。

様々な行事を通して、利用者様にとって食事が日々の楽しみとして大きな影響を与えていると実感するとともに、利用者様一人一人に寄り添い、日々の食事の楽しみを感じて頂けるよう、日々尽力していきたいと思っています。

介護老人保健施設 鹿野苑
管理栄養士 葛巻千捺



県内他団体のご紹介

一般社団法人 茨城県介護福祉士会



茨城県介護老人保健施設協会の皆様におかれましては、茨城県介護福祉士会の運営にあたり、日頃よりご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、当会は、日本介護福祉士会の下部組織として平成6年10月1日に初代会長である宇都宮和子氏を中心に発足し、今年で30周年を迎えました。これも一重にこれまでの歴代会長の皆様や会員の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

この5年間、新型コロナの影響により、ソーシャルディスタンスは人と人との繋がりを分断した一方、オンライン環境の進歩は、より簡単に、時には国境を越えた方々とも繋がる事が可能となりました。この激変した時代背景の中、介護DX・生産性向上等、我々介護福祉士も変化を求められているのではないのでしょうか。そのような中、第30回日本介護福祉士会全国大会を完全対面にて開催させていただきました。シンポジウムとして、「医療・介護連携における介護福祉士への期待」として多職種の皆様を交え議論させて頂きました。結果、全国の皆様および老健協会はじめ関係機関のご協力のもと750名を超える方々に参

加頂きました。ありがとうございました。

また、令和6年元日に起きました能登半島地震では、DWATとは別に、日本介護福祉士会独自の支援チームを早々に立ち上げ、当会からは延べ11名のボランティアを派遣し、主に1.5次避難所における重介護者への介助を行いました。介護福祉士の専門性が発揮できたタイミングでもありました。

そして、令和6年度の診療報酬・介護報酬改定では、これまで以上に医療・介護連携が求められています。介護福祉士の力量が問われています。老健協会の皆様と意見交換し、研鑽していきたいと存じます。

最後になりますが、いつも気軽にお声をかけてくださいました、大場先生のご冥福をお祈り申し上げ私のご挨拶とさせていただきます。



ゴーエン美浦
支援相談員 栗山かづき

介護老人保健施設ゴーエン美浦は、緑と水の豊かな過ごしやすい環境である美浦村にあり、入所・デイケア共に個々に合わせたニーズに柔軟に対応し、医療だけでなく、介護・看護等、全ての職種において地域に開かれ、地域に根付いたサービス提供を目指しています。

ゴーエン美浦のゴーエンとは、デンマーク語で、「庭園」を意味します。

日々穏やかな庭園で自然を感じるかのように、心安らぎ落ち着いた環境でのんびりと快適に過ごせる場所であり、自宅で家族と過ごすのと変わらない気持ちで毎日を送れる、「今日は良い一日だったな」と振り替えることのできるそんな「場所」を提供したいと考えております。

ゴーエン美浦では年間を通し、春は花見、夏は夏祭りといったように季節に合わせた行事を毎月行っています。

その都度季節を感じ、楽しみを持ち、毎日を笑顔で過ご

していけるご配慮をさせていただいております。

また、介護老人保健施設であるうえで重要なリハビリテーションにおいて、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と三職種がそろっております。

その方にとって必要な部分は多種多様ではありますが、柔軟な対応をモットーとし、その方の方が望む未来図に向け、専門的かつ重点的にご対応することが可能です。

誰もが健康で元気に過ごしたい。

誰もが思うそんな当たり前を、自然に当たり前にして行けるお手伝いをさせていただくことこそ、ゴーエン美浦としての役割であると考えております。



ウイケア
介護福祉士 小池駿太

ウイケアは、美浦中央病院を母体とする石岡市に平成30年10月1日に開設された介護老人保健施設です。当施設のデイケアは、1日約38名と多くのご利用者様の受け入れをしています。利用者様の笑顔や毎日安心して過ごして頂ける様に他部署とも連携をとりながら日々仕事に取り組んでおります。

また利用者様に楽しい時間を過ごして頂くために、個別レク・集団レクに加えて毎月のイベントに力を入れています。個別レクでは季節の塗り絵が人気あり、他の皆様に見て頂ける様に展示コーナーを設けております。集団レクでは体操を中心に脳トレやカラオケ・ゲーム等体を動かし心身の健康の維持向上に努めております。毎月のイベントは利用者様に季節を感じて頂くために運動会・敬老会等さまざまな行事を行っております。

10月には、利用者様のご家族や地域の方々を招きふれあい祭りを開催しました。模擬店やゲーム・栄養相談・介

護相談コーナー・リハビリ機器体験を行いました。たくさんの方々に参加して頂きました。

デイケアのフロアを使った出し物では入所者様・一般の来場者・職員を合わせ約200名が石岡の若松囃子連によるお囃子を堪能して頂きました。ふれあい祭りに参加された利用者様・ご家族・地域の皆様のたくさんの笑顔やありがたいの言葉を頂く事が出来ました。

準備など大変な事もありましたが、職員一同やりがいを感じ、さらに充実したケアを提供出来るように努めております。

これからもご利用者様が楽しくご家族様が安心して通えるデイケアを目指していきます。



特別寄稿

今号の特別寄稿は、茨城県老健協会会員施設をいつも応援していただいています
歌手 藤田恵美さんからメッセージをいただきました。

◆ 藤田恵美・プロフィール

1994年にLe Coupleのボーカルとしてデビュー。
1997年に「ひだまりの詩」が180万枚のヒットをし、
NHK 紅白歌合戦に出場。
2001年からソロ活動を開始し、洋楽カバー「camomile」シリーズは
アジア10カ国で45万枚のヒット、以後、香港、シンガポールなどで
定期的にコンサートを開催。
その他、リリー・フランキー氏プロデュースによるオリジナルアルバム
「花束と猫」が第54回レコード大賞「優秀アルバム賞」を受賞。
柴門ふみや西村由紀江らとコラボしたアルバムも発売。
全国各地の小学校で15年以上続けている「OMOIYARI 音楽会」は
現在までに188回開催。



私の父は大正12年生まれ、
子供の頃はよく懐メロを聞かされていました。
おかげで同年代より昔の歌をたくさん知っていると思います。
芸能ごとが好きな父の影響で幼稚園から劇団に入団。
20代でアマチュアバンドで歌っていたことは父も知っていましたが、
30代でのデビューや紅白に出場したことなどは、
父が他界したずっとあとのこと。もし生きていたら喜んでくれたことでしょう。
父から知った昔の歌をどこかで役に立てられたら、恩返しになるかもしれない。
そのような思いから高齢者施設等で歌わせて頂いたこともありました。
そんな中「子供のいじめをなくしたい」と活動されているかたから、
「思いやり」をテーマにした歌の制作を依頼され、
「OMOIYARI のうた」を作りました。
2011年からはこの歌を通して、子供たちと一緒に「思いやり」を考える「OMOIYARI 音楽会」
を始め、これまでで188ヶ所に。
すっかり小学校へ出向くことのほうが多くなっていました。



それでも私の知っている昔の歌を、どこかで役立てたい思いはずっと消えず、
コロナ禍を経て、2024年は久しぶりに数ヶ所の施設で歌わせて頂きました。
選曲した歌を誰も知らなかったら…そんな不安もありましたが、皆さまの口ずさむ声が聴こえた時には、嬉しくて泣きそうでした。
ほんの少し父への恩返しができるような気がしますし、
今後も地味ながら続けて行きたいと思えました。

企画 2

各種専門委員会レポート

看護介護専門委員会

令和6年度の看護介護専門委員会の活動を振り返りますと、8月2日、第1回研修会（ZOOM）で講師に RoomT2（転倒転落研究会）設立代表 杉山良子先生をお迎えし、転倒転落について講義をいただきました。事故による障害0を目指してエビデンスと知見を広めていくことを信念とする同会の想いを伝えていただきました。転倒転落のテーマは業務に密接する重要な項目であることを踏まえ、今後も様々な角度や視点からの研修会を企画してまいります。

1月16日、第2回研修会（ZOOM）では講師に医療法人大誠会 介護老人保健施設大誠苑黒木勝紀先生により「身体拘束ゼロの認知症ケア」をテーマに講義をいただき、

同会での先進的な取組みを紹介いただける研修会になりました。

看護介護専門委員会ではこれからも会員施設の皆さまが真に役立つ研修会等を企画開催してまいりますので、是非ともご支援いただきますようお願いいたします。

看護介護専門委員会 委員長 大久保 栄市

支援相談員専門委員会

本年度、茨城県介護老人保健施設協会支援相談員専門委員会委員長を務めます飯島です。

支援相談員の専門委員会では、年度中7月にグループワーク形式の研修を、11月に講師の先生を招いての研修を、それぞれ実施しました。

研修を実施するにあたり、事務局、副委員長をはじめ、会員のみなさま方におかれましては、多大なご支援、ご協力を賜り、まことにありがとうございました。

前半のグループワークでは、単独で業務をすることの多い支援相談員にとって貴重な情報共有と交流の場を、後半の座学においては本年度施行された介護保険法改定について学ぶ機会をいただき、それぞれ有意義な研修になったことと思います。

皆様よりいただきましたアンケートをもとに、来年度も価値のある研修を立案、実施していければとおもいます。皆様のご参加をお待ちしています。

支援相談員専門委員会 委員長 飯島 正之

栄養専門委員会

栄養専門委員会では今年も2回目の研修で茨城県栄養士会と共同で現地とZOOMでのハイブリッドで開催しました。医療報酬、介護報酬の改定により栄養情報連携の加算が新設されました。医療・福祉職域連携に尽力されている茨城県栄養士会医療専門研究会会長であり、常磐大学教授の鈴木薫子先生を講師に迎え「医療・介護分野の管理栄養士の連携について」講演いただきました。病院から施設、施設から病院への転院する時に栄養状況提供書により必要栄養量、摂取栄養量、食事形態、禁止食品等の食事内容が共有できれば、利用者様の食事内容の継続または栄養状態の改善に有効です。医療と介護の管理栄養士の連携が必要となってきます。地域の管理栄養士同士が連携するには顔が見える関係を築くことが大切です。相手の顔が分かれば、お互いに連絡を取りやすくなり情報共有にも繋がる

ので、地域の連携にも目を向けていきたいです。栄養状況提供書に食事形態があり、嚥下食コードを記載しますが、嚥下食コードの認識が各施設によって異なり、きざみにしても大きさが異なるので、食事形態のすり合わせも必要だと感じます。今後も皆さんに参加していただけるような研修を役員で企画していきますので、ご参加宜しく申し上げます。

栄養専門委員会 委員長 木村 靖子

事務専門委員会

事務専門委員会の令和6年度活動実績では、第1回研修会として、令和6年8月21日 介護施設における人材育成 ～より良い自分の育て方～ 中堅職員対象に「人が育つ職場作り」というテーマにて開催しております。14施設25名の方が参加されました。人材確保が困難な中、研修に職員を快く送り出してくださった施設の方々には感謝しております。また、参加をされた職員の方は実りの多い研修だったと思います。第2回研修会は、令和7年1月17日開催しております。顧問弁護士による実際の相談事例と対処法や人事評価制度の運用方法・評価についてを具体的にお話し頂きました。また、グループワークにて情報交換や意見交換を行いました。同じ老健施設同士の情報交換ですので、その内容を各施設に持ち帰りご活用されていまして幸いです。今後も、皆様にとって価値ある研修を開催していけるよう努めていきますので、研修会へのご参加よろしくをお願いいたします。

事務専門委員会 委員長 荒井 綾子

リハビリテーション専門委員会

いつも研修会へのご参加ならびにご協力をいただき誠にありがとうございます。

リハビリテーション専門委員会では、例年、年3回の研修会の企画と運営を行っております。

令和6年度は「介護報酬改定を乗り越え」を年間テーマに、6月に報酬改定を踏まえて老健におけるリハビリテーションに何が求められているのかを学び、10月に実際の臨床でどう立ち振る舞ったらいいかを学びました。

第3回研修会は、来る2月25日に県内の各事業所で報酬改定を実際にどう対応しているか、事業所発表や座談会を通して学ぶ予定であります。

今回は当委員会では初めて現地とオンラインのハイブリッド開催を試み、5年ぶり現地での研修会となる予定です。

来年度は、今年度の経験も踏まえ、オンライン開催・現地開催・ハイブリッド開催のそれぞれの良さを活かした研修会の形にブラッシュアップして行きつつ、報酬改定2年目として臨床の場で参加者の皆さまに役立つ内容を検討して参りたいと考えております。

現在検討中ではありますが、刻々と社会情勢により変化する、私たちリハビリテーション専門職の役割に、どのように対応していくか、参加者の皆様や、ご利用者様にも具体的に明るい未来をイメージでき、モチベーションがアップするような、より踏み込んだ魅力ある内容を検討しております。

令和7年度も研修会のご参加を委員一同お待ちしております。

リハビリテーション専門委員会 委員長 原島 亮治

令和6年度 各専門委員会 主催研修会の実績

専門委員会名	実施年月日	事業（研修）内容
看護・介護	令和6年8月2日(金) (第1回) リモート	内 容：転倒転落 事故対策講座 転倒転落対策 講 師：㈱パラマウントベッド
	令和7年1月16日(木) (第2回) 現地	○ザ・ヒロサワシティ会館 内 容：身体拘束について 講 師：黒木勝紀氏（内田病院 老健 大誠苑 看護部長）
支援相談員	令和6年7月19日(金) (第1回) 現地 参加者29施設46名	○ザ・ヒロサワシティ会館 内 容：グループワーク ・ 情報交換
	令和6年11月22日(金) (第2回) 現地	○ザ・ヒロサワシティ会館 内 容：多職種向け研修会 ・ 介護報酬改定 説明会 講 師：山本貴一氏（全老健業務部課長補佐）
栄養	令和6年6月28日(金) (第1回) リモート	内 容：①リハビリテーション栄養の必要性 ②糖尿病と栄養管理 講 師：①平尾江梨子氏（㈱明治） ②山寺 教文氏（㈱明治）
	令和6年11月14日(水) (第2回) ハイブリッド研修	【公益社団法人茨城県栄養士会との共同開催】多職種向け研修会 内 容：①介護報酬改定（栄養） ②医療・介護分野の管理栄養士の連携について グループワーク 講 師：①益子慎司氏（茨城県栄養士会理事） ②鈴木薫子氏（常磐大学 人間科学部教授）
事務	令和6年8月21日(水) (第1回)	○ザ・ヒロサワシティ会館 内 容：介護施設における人材育成～より良い自分の育て方～ 講 師：佐藤茂則氏（有限会社ミック研究所 代表取締役）
	令和6年11月29日(金) (第2回)	○ザ・ヒロサワシティ会館 内 容：①電話相談窓口の事例開設 ②人事制度、人事評価の解説 グループワーク 講 師：①袖山一帆氏（袖山弁護士事務所） ②事務局
リハビリテーション	令和6年6月25日(火) (第1回) リモート	内 容：老健でのリハビリテーション～介護報酬を踏まえて 講 師：土井勝幸氏（介護老人保健施設せんだんの丘 施設長）
	令和6年10月18日(金) (第2回) リモート	内 容：介護報酬からひも解く通所、入所に関わるリハ専門職に求められること 講 師：岡野英樹氏（全国デイ・ケア協会理事）
	令和7年2月25日(火) (第3回) ハイブリッド (予定)	○ハイブリッド開催（現地はザ・ヒロサワシティ会館） ・ リハ専門委員会内の研究事例報告会
令和6年度 専門委員会 合同会議	令和6年3月21日 集合形式（予定）	○ザ・ヒロサワシティ会館 内 容：①令和6年度事業実績のまとめ ②令和7年度事業計画策定 ③その他

医療法人それいゆ会
介護老人保健施設

ノア (高萩市)



●秋～柿と秋桜と赤蜻蛉～

デイケアご利用者様、スタッフと共同作業で、季節を彩る大作が完成いたしました。タイトルにある「柿」「秋桜」「赤蜻蛉」は立体で作成し、より艶やかな秋の色彩を表現できるよう、配置をどうするか皆で話し合いながら作成いたしました。正面玄関に飾り、お越しになる方々の目を楽しませていております。

社会福祉法人 北養会
介護老人保健施設

くるみ館 (水戸市)



●デイケアから広がる幸せ～松ぼっくりのツリー～

とりどりの飾り付けに挑戦！デイケアのアクティビティとして、松ぼっくりを使ったクリスマスツリーを作りました。バランスや細かい部分の仕上げは少々難しかったですが、個性が光る作品が完成しました。考えながら自然に手指を動かすことができ、リハビリとしても楽しい活動となりました。完成したツリーは、お孫さんやお嫁さんへのプレゼントにされた方も多く、大変喜ばれました。

みんなの広場

社会福祉法人 愛正会
介護老人保健施設

田尻ヶ丘ヘルシーケア

(日立市)



●クリスマス会

12月、毎年恒例のクリスマス会を開催しました。ツリーの飾り付けやクリスマスソングの合唱、クイズ大会などでフロアは歓声と笑顔に溢れました。入所者の皆様は、クリスマスケーキや特別なお食事をいただき、クリスマスの雰囲気を楽しむ特別な時間を過ごされました。このひと時が、皆様の素敵な思い出となれば幸いです。

医療法人社団恵仁会
介護老人保健施設

アリエッタ (つくば市)



●お正月干支(巳)

デイケアの利用者様と2025年の干支である巳年の壁画作りを行いました。

巳年のヘビはダンボールに下書きをし、折り紙を1枚1枚隙間なく貼り付けました。

背景の富士山はお花紙を捻り、こちらも1枚1枚隙間なく貼り付けました。

利用者様1人1人がそれぞれできる作業で分担し1つの作品を完成させることができました。

— 編集後記 —

○今回の表紙は自然豊かな歴史と芸術の街 笠間市の三景です。稲田石が美しい石切山脈、つつじ公園はたくさんの品種のつつじの花で彩られ、笠間稲荷神社には美しい藤棚が佇みます。トピックスは「休職業務に関するアンケート」結果報告、自施設調理と委託調理の各施設によるレポートを掲載しました。

発行所／一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会
発行人／プロスペクトガーデンひたちなか 森田 隆

編集人／プロスペクトガーデンひたちなか 森 田 隆
編 集／鹿野苑 橋 本 有
ひだまり倶楽部 瀧 慶 治
つくばリハビリテーションセンター 市 原 健 一
平成園 小 柳 賢 時
ウイケア 岩 瀬 剛



一般社団法人
茨城県介護老人保健施設協会
ホームページ

茨城県介護老人保健施設協会会員一覧

番号	施設名	所在地	電話番号	番号	施設名	所在地	電話番号
1	おはよう館	北茨城市磯原町磯原字前大沢1919-4	0293-44-0088	1	さざんか荘	桜川市竜岡992	0296-76-2021
2	ひだまり倶楽部	北茨城市磯原町磯原2-305	0293-30-1710	2	協和ヘルシーセンター	筑西市門井1669-2	0296-57-6030
3	博 純 苑	高萩市大字秋山625	0293-23-2900	3	ごぎょうの里	筑西市小林467-1	0296-25-5710
4	ノ ア	高萩市高浜町3丁目154-1	0293-24-2100	4	梨 花 苑	筑西市木戸348	0296-37-4810
5	さくら日立	日立市城南町1-11	0294-22-8811	5	ルーエしもつま	下妻市江1832	0296-44-8000
6	日立南ヘルシーセンター	日立市大みか町6-17-1	0294-52-6825	6	寿 桂 苑	坂東市香嶺4527-1	0297-44-2345
7	シニア健康センターしおさい	日立市国分町3-6-1	0294-34-6611	7	青嵐荘ケア・アシスタンス	古河市上大野703-1	0280-98-2711
8	くじらヶ丘	常陸太田市田渡町855-1	0294-70-2611	8	平 成 園	古河市旭町1-17-39	0280-31-5998
9	大宮フロイデハイム	常陸大宮市上町318-1	0295-53-1000	9	あんしん	結城市大字結城字健田12744	0296-33-0880
10	温泉リハビリセンター虹の丘	久慈郡大子町大字矢田93-1	0295-72-6331	10	生きいき倶楽部	結城市大字結城9143-1	0296-20-8666
11	ひたちの森ハピネス	日立市十王町伊藤725-1	0294-20-6699	11	マカベシルバートピア	桜川市眞壁町東山田1945	0296-54-2800
12	やすらぎ	久慈郡大子町大字888	0295-72-6622	12	境町メディカルピクニック	猿島郡境町家崎2555-1	0280-81-1055
13	プラタナスの丘	常陸大宮市宇留野3109	0295-54-1150	13	しろかね	下妻市下栗1217	0296-30-1811
14	田尻ヶ丘ヘルシーケア	日立市田尻町2-8-11	0294-43-6343	14	さくらがわ	桜川市東飯田659	0296-20-6071
1	サンライズ湊	ひたちなか市阿字ヶ浦町字原1406-1	029-265-8711	15	まくらがの郷	古河市東本町4-2-2	0280-33-1234
2	勝 田	ひたちなか市中根5125-2	029-276-3111	16	きねぶち	坂東市長谷989-5	0297-47-3333
3	みなと苑	ひたちなか市幸町16-1	029-263-0655	17	けやきの舎	古河市仁連601	0280-77-3333
4	いちご苑	ひたちなか市世野町11-3-20	029-271-1750	18	すばる	結城市大字結城10780	0296-21-2088
5	フェニックス那珂	那珂市飯田1733-1	029-298-8787	19	夢彩の舎	猿島郡境町大字若林2269-1	0280-33-7300
6	ライブリーライフ「那珂」	那珂市菅谷605-2	029-295-6835	20	プレミエール元気館筑西	筑西市古554-3	0296-57-7000
7	きんもくせい	東茨城郡茨城町石塚1223-1	029-288-7221	1	シルバーケア土浦	土浦市木田余4606	029-826-7021
8	はあもにか	水戸市石川14丁目4039-26	029-254-5777	2	ひかり	土浦市右柳1113-1	029-843-3321
9	こすもぴあ	水戸市石川14-4027	029-252-4777	3	アリエッタ	つくば市北条1174	029-867-1182
10	くるみ館	水戸市河和田町3335-1	029-255-4774	4	つくばリハビリテーションセンター	つくば市大曾根3681	029-864-8300
11	ナーシングホームかたくり	水戸市河和田町4516-1	029-255-5222	5	そよかぜ	つくば市上横場2573-1	029-836-0517
12	みがわ	水戸市見川町2131-105	029-305-6868	6	「豊 浦」	つくば市大字神郡2013-1	029-850-7111
13	つねづみ	水戸市大場町字小山2-14	029-247-6250	7	つくばケアセンター	つくば市要76	029-877-1313
14	つまさと	水戸市有賀町2228	029-259-7677	8	なでしこ	つくば市水守2228-2	029-864-6565
15	エバーグリーン	東茨城郡茨城町若宮字向ヒ393-1	029-293-9460	9	ゴーエン美浦	稲敷郡美浦村宮地678	029-885-5522
16	レイクヒルひぬま	東茨城郡茨城町下石崎2324	029-240-8120	10	ケアセンター阿見	稲敷郡阿見町若栗2957-4	029-889-1180
17	おおあらい	東茨城郡大洗町大貫町1212-11	029-267-1331	11	スーベリア360	稲敷郡阿見町荒川本郷2033-508	029-830-5300
18	カーサ・ピアンしろさと	東茨城郡城里町阿波山原602	029-240-9595	12	セントラルゆうあい	牛久市柏田町1590-3	029-872-8833
19	ラプラス津田	ひたちなか市津田3728	029-222-4186	13	涼 風 苑	龍ヶ崎市長原塚町3689	0297-63-0008
20	プロスペクトガーデンひたちなか	ひたちなか市高野字柏野2455-1	029-354-3210	14	サンライフ宗仁会	取手市岡1471	0297-85-8743
21	シルバービレッジ	笠間市南小泉977-1	0296-78-2211	15	取手市介護老人保健施設緑寿荘	取手市野々井1926-8	0297-78-9100
22	笠間シルバーケアセンター・パル	笠間市来栖255-1	0296-70-1185	16	はあとびあ	取手市井野253	0297-74-3335
23	あたごナーシングビル	笠間市土師1080-1	0299-37-6511	17	けんちの苑水海道	常総市豊岡町丙3264	0297-24-5511
24	すみれ	笠間市石井2045	0296-70-0035	18	春 秋 園	牛久市猪子町891-2	029-870-3100
25	はなみずき	水戸市東原3丁目2-8	029-303-3501	19	けやきの郷	龍ヶ崎市長原町字沖餅1741-1	0297-61-5133
26	桜の郷敬愛の杜	東茨城郡茨城町桜の郷1000-2	029-353-6581	20	プレミエール元気館	つくば市谷田部6107-1	029-838-1919
1	鹿 野 苑	鹿嶋市宮津台188-17	0299-83-7311	21	ホワイトハウス千代田	かずみがうら市東野寺495-2	0299-23-1133
2	ばんなん白光園	神栖市質2148	0299-93-1162	22	いなしきの郷	稲敷市佐原組新田1378-1	0299-79-3811
3	シオン	神栖市土合本町2-9809-126	0479-48-1888	23	プエブロ稲敷	稲敷市狸穴11	0297-87-7511
4	フロンティア銚田春の場所	銚田市柏原985-1	0291-32-5408	24	もえぎ野	北相馬郡利根町もえぎ野台1丁目1-8	0297-84-6081
5	リヒトハウス北浦	行方市繁昌1712-1	0291-35-0471	25	ネオテラス宗仁会	取手市岡1493	0297-85-8341
6	みのり苑	小美玉市橋場美21	0299-48-3556	26	ひまわり	つくば市高崎1008	029-871-5749
7	八郷プロバンス	石岡市瓦谷766-28	0299-44-3213	27	アイケア	守谷市小山318-5	0297-38-6767
8	サングリーンやささ	石岡市小倉443-1	0299-43-3120	28	セントラル土浦	土浦市真鍋新町12-10	029-893-6100
9	コミュニティケアセンター縦山	銚田市縦山497	0291-37-3850	29	ビオラセア	龍ヶ崎市字野原1360-1	0297-85-5111
10	あいあい	石岡市東石岡4丁目1-38	0299-28-3838				
11	サン・テレーズ	小美玉市葉又四ヶ1752-1	0299-37-1115				
12	かずみがうら	行方市若海793-5	0299-55-0122				
13	ウイケア	石岡市行里1112951-1	0299-56-2533				
14	小美玉敬愛の杜	小美玉市中台148	0299-56-5181				

